



それ
文化財
です!



—守れるのは私たちだ—

文化財防災 パンフレット

「文化財」と認識されていないものの中にも、
地域の歴史や文化を語る上で欠かせないものがたくさんあります。
汚れたり壊れたりしても災害ゴミとして処分せずに、
市町村や県の文化財保護課まで連絡をお願いします。

緊急連絡先を書き込んでおきましょう

市町村文化財保護部局	☎
県文化財保護課	☎ 027-226-4681

ご覧ください!



群馬県水害リスク
想定マップ



動画「東日本震災
から10年 文化財
防災の歩み」



文化財防災関係団体
「群馬歴史資料継承
ネットワーク」HP

地域の宝を守る



災害が起こる前にやるべき 4 つのステップ

災害発生の準備

文化財の被害を小さくするためには、事前の準備が何よりも大切です！

「群馬県文化財防災ガイドライン」のチェックリストやフローチャートなどを確認しましょう。



群馬県文化財
防災ガイドライン

1 現状確認

日頃の点検により破損部を直したり補強したりすることで、被害の拡大を防ぎます。

破損などの点検をする

不安な点を市町村に相談する



2 現状記録

保管している状況を記録し、市町村と共有しておくことで、災害後の復旧の手がかりとします。

何が、どこに、どのように保管されているか、写真や図面、映像で記録する



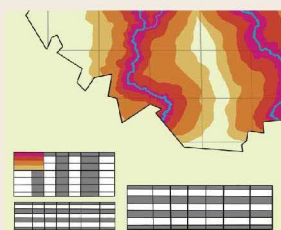
3 災害想定

どのような災害の、どの程度の影響があるのか確認しておくことで、万が一の災害に備えます。

市町村のハザードマップや
防災パンフレットを確認する

設備や保管場所を見直す

文化施設への寄託・寄贈



4 避難先の確認

想定した災害に応じて、自分自身と文化財の避難の方法について確認しておきましょう。

自分の避難場所

自治体のハザードマップ等を確認し、どのタイミングでどこへ避難するか調べておきましょう。

例えば…

- 最寄りの指定避難所
- 最大の大雨でも浸水しない親戚・友人宅
- 最寄りの高い場所や建物 (逃げ遅れた場合)



文化財の避難場所

絵画や仏像、古文書、民具など、動かせる文化財については、発災時の避難場所を決めておきましょう。

例えば…

- 敷地内の高い場所 (蔵の2階等)
- 周辺の高い場所や建物
- 地域の博物館や資料館等



市町村文化財保護部局へ
相談してみましょう。

★文化財が複数ある場合、避難の優先順位を決めておきましょう。

警報発令



予め優先順位を決めておくと…



災害が起こったら

人命を第一としながら、文化財への被害を軽減するための措置をとりましょう。

文化財が被災した場合は、地元市町村への被害の内容を報告するようお願いします。

少しでも早く対応することができれば、救うことのできる文化財も多くなります。